

考古と民族 からみた “ものづくり”

日時

令和8年
2月28日(土)
午後1時～4時40分

会場

岡山県立美術館
ホール(岡山市北区天神町8-48)

定員

200名

(要事前申込み。先着順)

第1部

講演1

「弥生人のものづくり」

深澤 芳樹

(元 奈良文化財研究所副所長)



橋築遺跡(倉敷市)



橋築遺跡出土人形土製品
(岡山大学考古学研究室提供)

講演2

「人類と線状的道具

—編み材と結束材に注目して—」

上羽 陽子

(国立民族学博物館教授)



市場で売られるタケヒモで留められた魚
(2024年、ラオス・サワンナケート県、上羽陽子撮影)



結束具としてのタケヒモづくり
(2017年、インド・アッサム州、上羽陽子撮影)

第2部

座談会

「考古と民族からみた“ものづくり”」

深澤 芳樹、上羽 陽子

司会:岡山県古代吉備文化財センター 総括副参事 米田 克彦



タラバヤシの葉によるニワトリ用卵巣カゴづくり
(2018年、インドネシア・西ティモール、上羽陽子撮影)

申込み

申込方法 センターホームページ・はがき・FAX(氏名、住所、電話番号を明記)

申込先 岡山県古代吉備文化財センター 講演会係
【住所】〒701-0136 岡山市北区西花尻1325-3
【FAX】086-293-0142
【URL】<https://www.pref.okayama.jp/site/kodai/>



古代吉備文化財センター

申込受付期間 令和8年1月7日(水)～2月8日(日)

※定員になりましたら、ホームページでお知らせし、申込みを締め切らせていただきます。

参加無料

